


パードー ヒロインズ

3

成年向け



「海よ!…つて、きやあああ!
な…なにこの水着…!?
ほぼ裸じゃない…!? 恥ずかしい…!」

「ち…乳首がはみ出ちゃう…!
それに…下も…ぐいぐい食い込んで…
ズレて見えちゃってる…!」



「ふっふっふ…！鈴木財閥のプライベートビーチへようこそ」
「そ…園子…っきゃあぁーなにを見せてんのよー！
…も、もしや、またいつもの…私の淫夢…っ？」

「そっ。」「…本当はヌードディスプレイビーチなんだけど、
『全裸じゃ恥ずかし過ぎて死んじゃう！』
と思っただから、特注の水着だけOKにしたのよー！」

「蘭？お尻向けて。蘭の新妻として、私がアナルを舐めてあげる」
「ええっ！いいわよお…。こんな格好…恥ずかしくて死んじゃう…」

「んぢゅ…！お尻の穴って苦しい！」
「そ…園子…人のお尻舐めについて…もっっ…」



「んふふう……どうや、蘭ちゃん？」


「この水着、全部私が選んだんやで？エロいやろ〜？」

「みんな、蘭ちゃんにアピールしたくてたまらんやろと思っぴてなあ……」

「か……和葉ちゃん……。まさか服部君の前で、

こんな水着着てたりしないわよね……？」






「私も蘭ちゃんのお尻の穴、
舐めてみたいわあ！」
「ああん！和葉ちゃんまで…！」

「うっわあ…！お尻に
ちよつと毛生えとんの…
私と同じや…。んぢゅ…」
「あんっ！そ…そっただよね？
生えるよね…？か…」
和葉ちゃんのも見せてよ…？」



「あんっ！ー蘭ちゃんに…
お尻の穴広げて見せとるなんて…。
私、変態やん…?」

「うっうん。変態なの、
きつと私だけだから…。んぢゅ…
…鍛えてるから、お尻の穴、
凄く引き締まってるよ…?」



「あんっ…!和葉ちゃん…!
わ…私達が付き合ったら…最強カップルかも…ね?」

「あんっ…!蘭ちゃん…!
めっちゃ好きや…!ガマンできひん…!
平次は工藤君とくつつくからもうええねん。
私は…蘭ちゃんと身も心もベッタベタにくつつくう!」

「え……っ？お……お母さん！っ？なによ、その水着……！バカ……！」

「あら……ヒドいわね。蘭は私がもうこっつこっついう水着着る

歳じゃないって言いたいの？じゃあ脱ぐわよ……。ヒドい子」

「だ……だって！子供として、

親のそんな水着……恥ずかしいに決まってるじゃない……っ？」





「あら。いいじゃない？お母さん、若々しくて。私は好きよ」
「さ…佐藤刑事…。プライベートでは、そんな水着…」
「着ちやつたりするんですか…？」

「もお…！」これ、さつきから全然、
乳首が隠れてくれないのよ！
不良品なんじゃない？脱ぐわ！」

「あんっ…!女同士だからって…
刑事が浮気しちゃマズいですよ…?」

「うふふっ…!
高木君には内緒よ?
ほおら…!
大人のセックスを
教えてあげるわ…!」

「毛利さんの世話を焼くのもいいけど…
自分の幸せも考えてね?蘭さん…」



「ほら…蘭？恥ずかしい水着脱いだから…
お母さんも愛して…？結構淋しくしてるのよ、私…」

「お…お母さんの肌の匂い…おっぱい…懐かしい…
ていつか、寂しいなら帰ってきてよ…？もっ…」

「えへっ！蘭お姉さん！」

私、蘭お姉さんが浮気ばっかりするから、
哀ちゃんと付き合ってるんだよ?」

「あ…あはは…。隠さないとマズいわよ、歩美ちゃん…」
「浮気ばっかりする人の言うことなんか聞かないもん！」





「吉田さん……。ありがとう……。」

罪だと分かっているけど……愛されるって
こんなに嬉しい気持ちになるのね……」

「んぢゅ……んぢゅ……。歩美、哀ちゃん
だあい好きー私が哀ちゃんを守るから……」

「あ、哀ちゃん……」
「年上の私が幸せになるお手本を見せれば、
蘭さんもきつと幸せになつてくれる……！」

だから……私っ……！！
イクっ……！！
吉田さん……私！イクわっ……！！」



「幸せになる...?」
そっか...私も、早く
幸せにならないと...
...い、イク!
イクんだから...!

新一のバカ...!私...みんなと...
先に...イクからっ...!
イクっ!イク...イチやうううう...!



こんばんわ。

コナン本も、おかげ様で第三弾を迎えることができました♪ (v^_^)v

原作でも何年かに1回あるくらいの、海と水着回を作ってみました\\(//▽//)\\
いつもの夢オチですが、1や2を知っているとニヤリとする描写もあるかもしれません (^v^)

蘭のハーレムの設定は、もう3弾なので大幅に説明がはしょられてますが、なんで?と思わず、なんとかな〜くな温度で読んで頂けたら幸いです。

僕は今32歳なのですが、僕と同世代の人が、青春時代に何を好きだったのか、考える事がよくあります。

この「好き」の定義が難しく、僕らの世代だけが好きだったものを探しているんです。
90年代の代表! って呼べるものですね。

ゲーム機は分かりやすく、スーパーファミコンかプレステ1、セガサターンあたりです。
ソフト…となると割れますが、とりあえず初代ファミコンではないんです。
でも、兄や姉がいた人はファミコンだという人もいますし、レトロゲーブームとかも加味すると、僕らの世代のハードは、ファミコンに比べればまだまだ小さなトレンドという印象です。

そんな中、アニメの「あの花」を見た時に、僕はちょっと怖くなったんです。
あの花は、デスヨ! やZONEなど2000年代頭の客層への懐かしいネタで溢れています。
「飛ばされた!! (; ° 0 °)」
と思いました(笑)

それ以来、僕らの世代に好きだったものは、もっとはっきり大きな声で言っていけないといけない…と思いました。

他の世代の人からすれば、僕らはファミコン世代にも見えるし、ギャルゲー世代にも見えるし、本当にそういう同年代の人もたくさんいます。
僕らは40代の人に懐きやすい世代でもあるし、新しいもの好きなミーハーな人もたくさんいます。
でも、そのどちらかに所属しきってていいのでしょうか(^_^;)

そんな僕が考える、90年代の代表の一つがコナンじゃないかと思います。
僕らの世代から始まって、今尚続くロングセラーです。

あと、話は逸れますが、
個人的には、ルパンとコナンのコラボはとても楽しかったです。
僕はスーパーヒーロイン大戦という同人ゲームを出すほどのコラボ好きなので、これほど大きなコラボがアニメや映画で観れるなんて、ほんとに感激です(≧▽≦)
しかも、浅い感じじゃなくて、かなり深いコラボですよ!
もっとコラボが流行ればいいのになあ…と思いつつ。
今回も、読んで頂きありがとうございました(^_^)

[誌名] パーローヒロインズ3

[発行] 黒 お湯の香り [サークル] レズ萌え! [印刷所] 母淫印刷 [発行日] 2013年12月12日

レズ萌えコミックス95※この本は成年向けです!

[連絡先] aperitif.itou@gmail.com [サイト] http://rezumoe.o.oo7.jp/r18top.htm